

SRS10Aシリーズ (SRS11A/SRS12A/SRS13A/SRS14A)

プログラム機能 取扱説明書

このたびはシマデン製品をお買い上げいただきありがとうございます。

「お願い」

この取扱説明書は、最終的にお使いになる方のお手元へ確実に届くよう、お取りはからいください。

「まえがき」

この取扱説明書は、SRS10Aシリーズのプログラム機能を対象に書かれております。
また、SRS10Aシリーズを取り扱う上での、注意事項・取付方法・配線・機能説明・操作方法について
述べておりますので、「取扱説明書（詳細版）」を参照の上お取り扱いください。
また、「取扱説明書（詳細版）」の記載内容を遵守してご使用ください。

株式会社シマデン

SRS10AP-1DJ
2025年 11月

目 次

1. プログラム機能を使用する前に.....	3	7. モニタ画面の説明.....	7
1-1. パターン数 (4-56 画面)	3	7-1. 実行ステップ№モニタ画面 (0-4 画面)	7
1-2. 時間単位 (4-57 画面)	3	7-2. ステップ残時間モニタ画面 (0-5 画面)	7
1-3. プログラム終了時 FIX 移行有無 (4-58 画面).....	3	7-3. パターン実行回数モニタ画面 (0-6 画面)	7
1-4. 停電補償 (4-59 画面)	3	7-4. 実行 PID№モニタ画面 (0-7 画面)	7
1-5. プログラム機能へ切換え (1-1 画面).....	3		
2. 画面の説明と設定	4	8. 外部制御入力 (DI) について.....	8
2-1. パラメータ系統図	4	8-1. 開始パターン番号	8
2-2. 3画面群：プログラム関連画面群	5	8-2. HLD (ホールド)	8
3. パターン情報の説明と設定.....	6	8-3. ADV (アドバンス)	8
3-0. 先頭画面 (3-0 画面)	6	8-4. PROG (プログラム)	9
3-1. スタート SV 設定画面 (3-1 画面).....	6	8-5. RUN/RST	9
3-2. 終了ステップ設定画面 (3-2 画面).....	6		
3-3~5. イベント動作点設定画面 (3-3, 3-4, 3-5 画面)	6		
3-6. パターン実行回数設定画面 (3-6 画面).....	6		
3-7. スタートモード設定画面 (3-7 画面).....	6		
3-8. ギャランティーソークゾーン設定画面 (3-8 画面).....	6		
3-9. ステップ先頭画面 (3-9 画面).....	6		
4. ステップ情報の説明と設定.....	6		
4-1. ステップ SV 設定画面 (3-9-1 画面).....	6		
4-2. ステップ時間設定画面 (3-9-2 画面).....	6		
4-3. ステップ PID№設定画面 (3-9-3 画面)	6		
5. 開始パターンの設定と実行.....	7	9. イベントについて.....	9
5-1. 開始パターン設定画面 (0-16 画面).....	7	9-1. ステップ信号 (<i>StepS</i>)	9
5-2. 実行開始／停止 (0-1 画面).....	7	9-2. パターン信号 (<i>PatnS</i>)	9
6. HLD/ADV の説明と設定	7	9-3. プログラム終了信号 (<i>EndS</i>)	9
6-1. HLD 設定画面 (0-8 画面)	7	9-4. ホールド信号 (<i>Hold</i>)	9
6-2. ADV 設定画面 (0-9 画面)	7	9-5. プログラム信号 (<i>Prog</i>)	9
		9-6. アップスロープ信号 (<i>u_SL</i>)	9
		9-7. ダウンスロープ信号 (<i>d_SL</i>)	9
		9-8. ギャランティーソーク信号 (<i>GUA</i>)	9
		10. オートチューニング (AT) について	9
		11. PV スタートについて	10
		11-1. PV スタートが機能しないケース	10
		11-2. PV スタートが機能し時間が短縮するケース	10
		11-3. PV スタートが機能しステップ省略するケース	10
		12. ギャランティーソーク (GUA) について	11
		12-1. OFF の場合	11
		12-2. ギャランティーソークゾーンを設定した場合	11

1. プログラム機能を使用する前に

プログラム機能を使用するに当たり、最初に下記のパラメータを設定してください。

1-1. パターン数 (4-56 画面)

設定画面は、4画面群：初期設定画面群『4-56 プログラムパターン数設定』にて行います。

P	ト	ル	ニ
4			

初期値 : 4
設定範囲 : 1, 2, 4

使用するパターンの数を設定します。

なお、全体で使用できるステップ数は、32ステップと決まっておりますので、設定したパターン数により、パターン毎に使用できるステップ数が異なります。

パターン数	パターンNo.	ステップ数	トータルステップ数
1	1	1から32	32
2	1	1から16	32
4	2	1から16	32
	1	1から8	
	2	1から8	
	3	1から8	
	4	1から8	

※プログラム実行時は、設定の変更はできません。
また、設定を変更した場合、プログラム関連のパラメータは初期化されますのでご注意ください。

1-2. 時間単位 (4-57 画面)

設定画面は、4画面群：初期設定画面群『4-57 プログラム時間単位設定』にて行います。

ト	ウ	ノ
H	M	S

初期値 : HM
設定範囲 : HM, MS

時間単位は、ステップ時間の時間単位を設定します。

時間単位	時間	設定範囲
HM	時間、分	00時間00分から99時間59分
MS	分、秒	00 分00秒から99 分59秒

※プログラム実行時は、設定の変更はできません。

1-3. プログラム終了時 FIX 移行有無 (4-58 画面)

設定画面は、4画面群：初期設定画面群『4-58 プログラム終了時 FIX 移行有無設定』にて行います。

E	F	I	N
OFF			

初期値 : OFF
設定範囲 : OFF, ON

プログラム終了時に FIX モードへ移行する設定を ON にしても「4-29, 4-30, 4-31 4-32 画面」の外部制御入力 DI に PROG を割付けている場合、プログラム終了後の動作は、DI の入力状態により変わります。

OFF : FIX 制御に移行しません。
ON : FIX 制御に移行します。

1-4. 停電補償 (4-59 画面)

設定画面は、4画面群：初期設定画面群『4-59 停電補償設定』にて行います。

S	A	B	E
OFF			

初期値 : OFF
設定範囲 : OFF, ON

プログラム実行中に電源が遮断された場合に、再度電源投入時にどのような状態で復帰するかを設定します。

OFF : プログラム制御時、停電直前の状態は保持せず電源再投入時にリセットします。
ON : プログラム制御時、停電直前の状態を保持します。(FIX 制御時は常に停電前の状態を保持)

1-5. プログラム機能へ切換え (1-1 画面)

設定画面は、1画面群：FIX 設定画面群『1-1 FIX 制御 ON/OFF 切換画面』にて行います。

F	I	X
ON		

初期値 : ON
設定範囲 : ON, OFF

FIXをOFFにすることにより、プログラム機能へ切換わります。

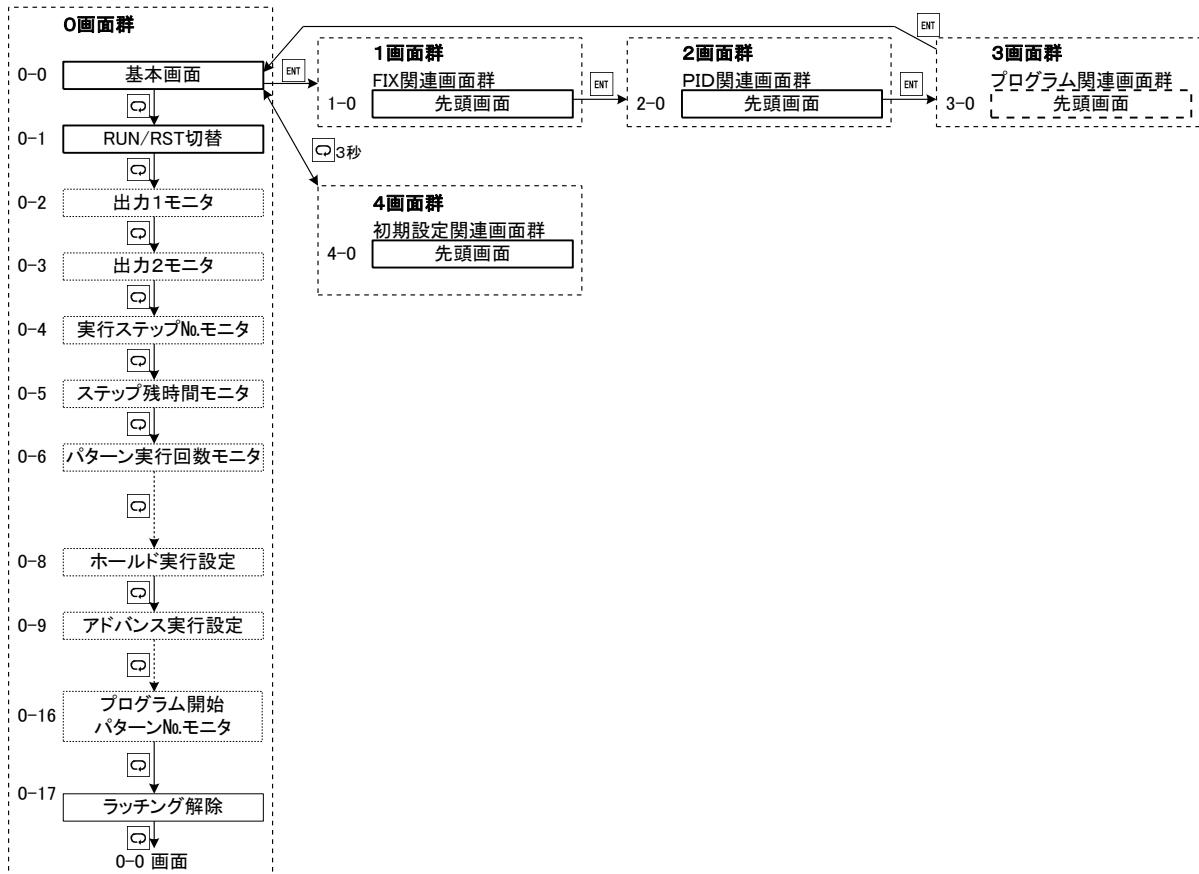
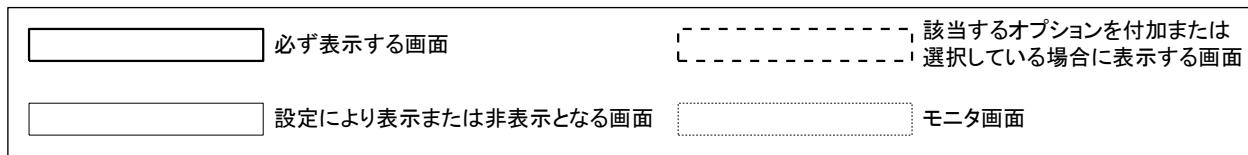
DIにPROGが割付されている場合は、キー操作できません。

FIX↔PROG 切換時は、実行またはスタンバイの状態を引継ぎます。

2. 画面の説明と設定

2-1. パラメータ系統図

「注」：各画面の画面枠による区分わけは以下のとおりです。尚、画面枠左の数字は画面No.です。



注 1 : 0画面群、1画面群、2画面群、3画面群の移行は、0画面群の基本画面、1画面群、2画面群、3画面群の各先頭画面でENTキーを押すことで移行します。

注 2 : 0画面群と4画面群の移行は、0画面群の基本画面で□キーを3秒間押し続けることで4画面群の先頭画面へ移行し、4画面群の先頭画面で□キーを3秒間押し続けることで0画面群の基本画面へ移行します。

注 3 : すべての画面群内では□キーを押すと次画面へ移行し、画面群内の最終の画面で□キーを押すと先頭画面に戻ります。

注 4 : 3画面群はパターン 1~4 があります。パターンの数はパターン数の設定により決められます。

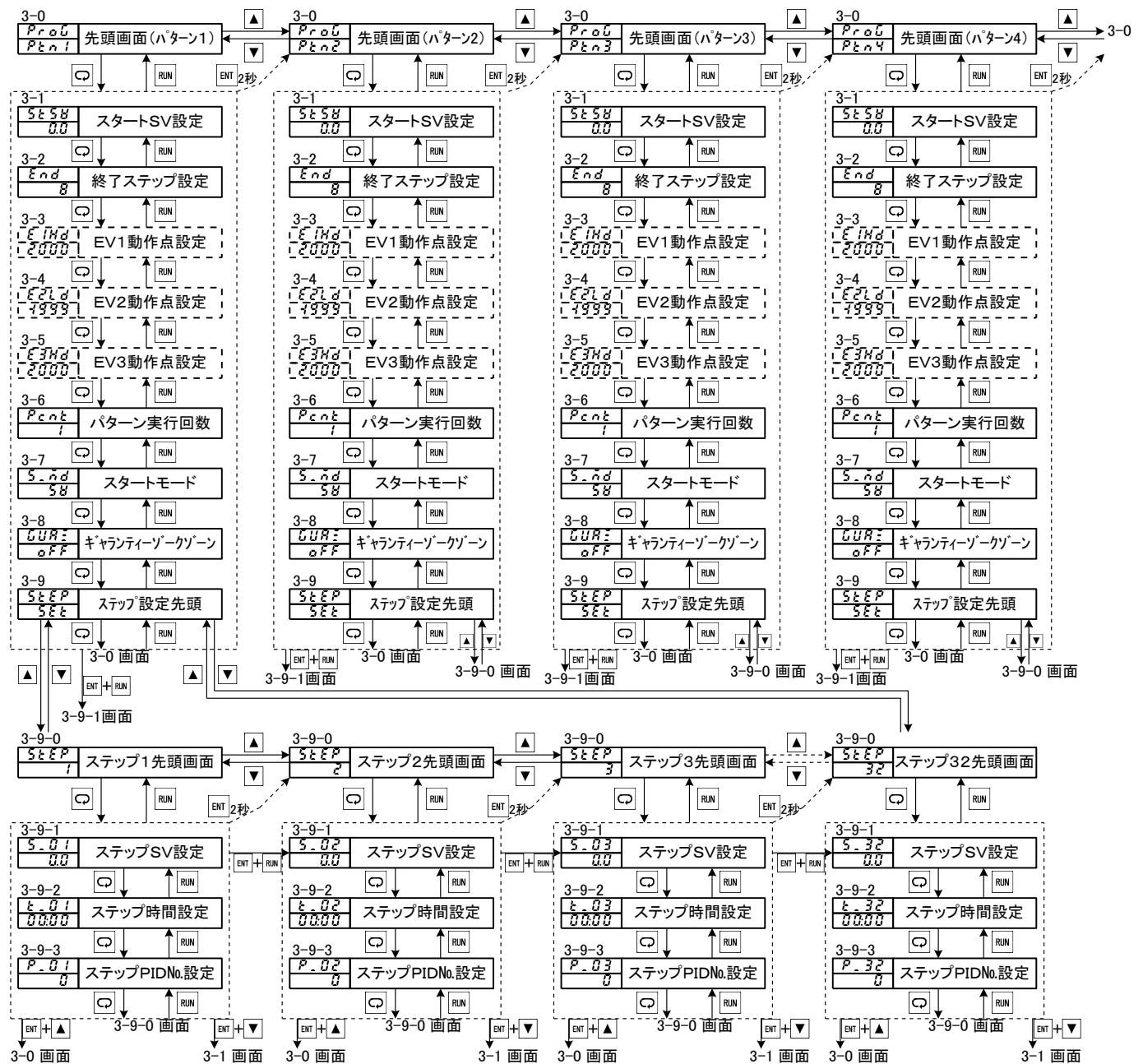
(パターン数の設定は 4~56 画面 で行います。初期値は 4)

ステップ 1~32 があります。ステップの数は終了ステップ数の設定により決められます。

(ステップ数の設定は 3~2 画面 で行います。初期値は 8)

注 5 : 3画面群（プログラム関連）内の移行は、次ページの様に行います。また、その他画面群内の移行については、「取扱説明書（詳細版）」を参照してください。

2-2.3 画面群：プログラム関連画面群



注1：当画面群は、プログラムオプションが有効の場合のみ表示されます。

3. パターン情報の説明と設定

3-0. 先頭画面 (3-0 画面)

P	ro	u
P	te	n
1		

- ▲ : パターン 2 先頭画面へ(パターン数が複数の場合)
 ▽ : パターン 4 先頭画面へ(パターン数が 4 の場合)
 BT : 基本画面へ

設定するパターン No. を選択します。

なお、パターン数で設定した数により選択できるパターン No. が異なります。

3-1. スタート SV 設定画面 (3-1 画面)

5	5	8
0.0		

- 初期値 : 0.0
 設定範囲 : SV リミッタ内

プログラムを開始する SV 値を設定します。
 SV リミッタを変更した場合に、SV リミッタ範囲を超えてしまった時は、SV リミッタ値と同じ値になります。

3-2. 終了ステップ設定画面 (3-2 画面)

E	nd
8	

- 初期値 : 8
 設定範囲 : 1~最大ステップ数

プログラムパターンで使用するステップ数を設定します。
 最大ステップ数は、パターン数により異なります。

パターン数	最大ステップ数
1	32
2	16
4	8

現在実行中のステップ No. より少ないステップ数に変更した場合、実行中のステップが終了した時点で、プログラム終了もしくは、先頭ステップへ移行します。

3-3~5. イベント動作点設定画面 (3-3, 3-4, 3-5 画面)

E	hd
2000	
E	ld
-1999	
E	hd
2000	

- 初期値 : 上限偏差警報 (Hd) : 2000
 下限偏差警報 (Ld) : -1999
 上下限偏差外警報 (od) : 2000
 上下限偏差内警報 (id) : 2000
 上限絶対値警報 (HA) : 測定範囲上限値
 下限絶対値警報 (LA) : 測定範囲下限値
 設定範囲 : 上限/下限偏差警報 : -1999~2000
 上下限偏差外/偏差内警報 : 0~2000
 上限/下限絶対警報 : 測定範囲内

対象のイベントコードに警報が割付けられた場合に表示され、プログラム動作時のイベント動作点を設定します。
 警報が割付けられていない場合、非表示となります。

3-6. パターン実行回数設定画面 (3-6 画面)

P	er	et
1		

- 初期値 : 1
 設定範囲 : 1~9999

対象パターンの実行回数を設定します。
 プログラム実行中に、現在実行している回数より少ない数を設定した場合、終了ステップ実行後プログラムを終了します。

3-7. スタートモード設定画面 (3-7 画面)

5	st	o
5		

- 初期値 : SV
 設定範囲 : SV, PV

プログラムのスタートモードを設定します。
 SV に設定した場合スタート SV 値より開始し、PV に設定した場合、条件により PV スタート機能が動作し、無駄時間を省略することができます。(1 1. PV スタートについて参照)

3-8. ギャランティーソークゾーン設定画面 (3-8 画面)

G	U	R	T
OFF			

- 初期値 : OFF
 設定範囲 : OFF, 1~999

ギャランティーソークゾーンを設定します。
 OFF に設定した場合には、ギャランティーソークは機能しません。(1 2. ギャランティーソークゾーンについて参照)

3-9. ステップ先頭画面 (3-9 画面)

S	t	E	P
5			

- ▲ : ステップ 1 先頭画面へ
 ▽ : ステップ 8 先頭画面へ(ステップ数が 8 の場合)

設定するステップ No. を選択します。

なお、終了ステップで設定した数により選択できるステップ数が異なります。

4. ステップ情報の説明と設定

4-1. ステップ SV 設定画面 (3-9-1 画面)

5	.	0	1
0.0			

- 初期値 : 0.0
 設定範囲 : SV リミッタ内

対象ステップの SV 値を設定します。
 対象ステップにより表示は、『5.01』～『5.32』と変化します。(ただし、終了ステップまで)
 SV リミッタを変更した場合に、SV リミッタ範囲を超えてしまった時は、SV リミッタ値と同じ値になります。

4-2. ステップ時間設定画面 (3-9-2 画面)

5	.	0	1
0.000			

- 初期値 : 00:00
 設定範囲 : 00:00～99:59

対象ステップの時間を設定します。
 対象ステップにより表示は、『5.01』～『5.32』と変化します。(ただし、終了ステップまで)
 時間単位は『4-53 時間単位』で設定した単位となります。

4-3. ステップ PIDNo. 設定画面 (3-9-3 画面)

P	.	0	1
0			

- 初期値 : 0
 設定範囲 : 0～3

対象ステップの PID No. を設定します。
 対象ステップにより表示は、『P.01』～『P.32』と変化します。(ただし、終了ステップまで)
 0 を設定した場合、前ステップで使用した PID No. を使用します。
 ステップ 1 に 0 が設定された場合、PID No. 1 で動作します。

5. 開始パターンの設定と実行

実行するパターン番号の設定と実行方法は以下のとおりです。
また、DIにおいて同様の操作を行うことができます。
詳細は、「8. 外部制御入力(DI)について」を参照してください。

5-1. 開始パターン設定画面 (0-16 画面)

設定は、0画面群『0-16 プログラム開始パターンモニタ画面』にて行います。



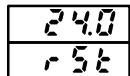
初期値 : 1
設定範囲 : 1～パターン数 (最大 4)

使用するパターン No. を設定します。
DI オプションを搭載している場合、DI 機能で
開始パターン No. を設定することができます。
DI に設定した場合、当画面でキー操作はできません。

※プログラム実行時は、設定の変更はできません。

5-2. 実行開始／停止 (0-1 画面)

設定は、0画面群『0-1 スタンバイ動作設定画面』にて行うか、『0-0 基本画面』で「RUN/RST」キーを2秒間押して行います。



初期値 : RST (FIX: EXE)
設定範囲 : RST / RUN (FIX: STBY / EXE)

プログラムの実行を開始または終了します。
DI の機能に割り付いている場合、キー操作はできません。
また、プログラム開始パターンモニタで設定したパターンの全てのステップ時間を「00:00」に設定している場合は、実行しません。

6. HLD/ADV の説明と設定

6-1. HLD 設定画面 (0-8 画面)

設定は、0画面群『0-8 プログラムホールド実行設定』にて行います。

プログラム運転時に表示



初期値 : OFF
設定範囲 : OFF, ON

ON にすることにより、プログラム実行を一時停止します。
プログラム実行時間のみ停止となり、制御動作は停止しません。
定值制御となります。
DI オプションを搭載している場合、DI 機能に HLD 機能を設定することができます。
DI に設定した場合、当画面でキー操作はできません。
HLD 解除すると停止していた時間が再び動きだします。

6-2. ADV 設定画面 (0-9 画面)

設定は、0画面群『0-9 アドバンス実行設定』にて行います。
プログラム運転時に表示



初期値 : OFF
設定範囲 : OFF, ON

ON にすることで、現在実行中のステップを終了し、次ステップへ移行することができます。
DI オプションを搭載している場合、DI 機能に ADV 機能を設定することができます。
DI に設定した場合、当画面でキー操作はできません。
ADV 機能終了後、表示は ON から OFF に戻ります。

7. モニタ画面の説明

プログラム機能関連のモニタ画面は以下のとおりです。
いずれも、0画面群です。

7-1. 実行ステップNo.モニタ画面 (0-4 画面)

プログラム運転時に表示
上段 : PV 値
下段 : 実行ステップ No.

現在実行中のステップ No. を表示します。
HLD 中は、SV 表示部少数点が点滅します。

7-2. ステップ残時間モニタ画面 (0-5 画面)

プログラム運転時に表示
上段 : PV 値
下段 : ステップ残時間

現在実行中のステップの残時間を表示します。
HLD 中は、SV 表示部少数点が点滅します。

7-3. パターン実行回数モニタ画面 (0-6 画面)

プログラム運転時に表示
上段 : PV 値
下段 : パターン実行回数

現在実行中のパターンの実行回数を表示します。
HLD 中は、SV 表示部少数点が点滅します。

7-4. 実行 PIDNo.モニタ画面 (0-7 画面)

EXE (RUN) 時のみ表示
上段 : PV 値
下段 : 実行 PID No.

現在実行中の PID No. を表示します。
HLD 中は、SV 表示部少数点が点滅します。

※HLD 中は、基本画面でも SV 表示部少数点が点滅します。

8. 外部制御入力 (DI) について

プログラム機能関連の DI 機能は下記の通りです。他の機能については、「取扱説明書（詳細版）」を参照してください。

8-1. 開始パターン番号

DI1/DI2 に割付可能です。

Ptn3 : 開始パターン3 ビット指定 (DI1 のみ割付可能)

Ptn2 : 開始パターン2 ビット指定

指定のビット数を使用してパターン番号を指定します。

プログラム実行中に、DI のビットパターンを変更した場合、プログラム実行が終了するまでは、開始パターンに反映されません。

DIコード	割付DI No.	使用するDI No.	DI3	DI2	DI1 入力	開始パターン No.
Ptn3	DI1	DI1/DI2/DI3	0	0	0	1
			0	0	1	1
			0	1	0	2
			0	1	1	3
			1	0	0	4
			1	0	1 以上	4
Ptn2	DI1	DI1/DI2	0	0	0	1
			0	1	1	1
			1	0	2	2
	DI2	DI2/DI3	1	1	3	3
			0	0	0	1
			0	1	1	1
			1	0	2	2
			1	1	3	3

8-2. HLD (ホールド)

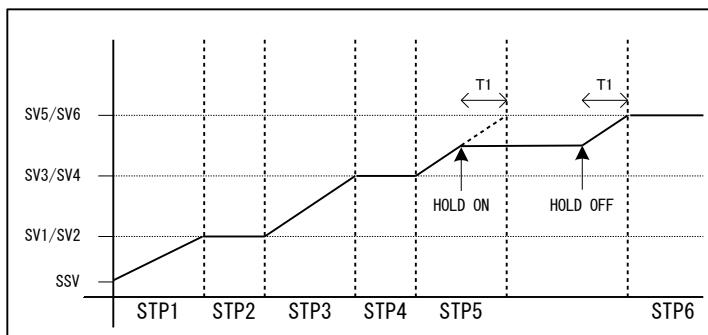
割付られた DI を短絡することにより、HLD 機能を ON させることができます。短絡している間、時間が停止し SV 値も固定されます。

①DI 割付時はキー、通信での HLD 操作はできません。

②HLD ON してから、RUN 実行を行うとスタート SV 値で HLD 状態となります。

③HLD 中に、スタート SV 値、ステップ SV 値、ステップ時間、ステップ PID No. を変更した場合、HLD が解除されるまで反映されません。

④HLD 中は、基本画面およびプログラム関連モニタ画面で SV 表示部の少数点が点滅します。



8-3. ADV (アドバンス)

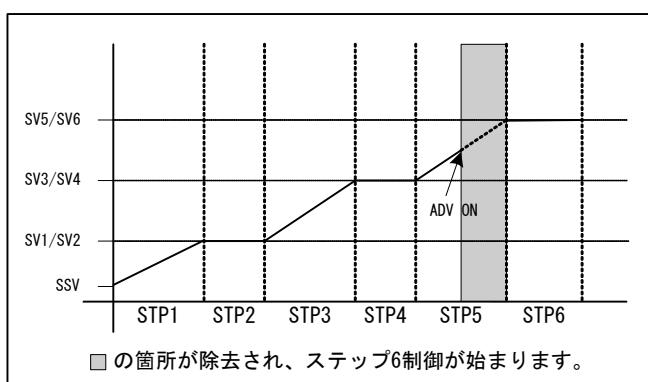
割付された DI を短絡することにより、ADV 機能を ON させることができます。一度の短絡で一度動作を行います。

HLD 中に ADV させることはできません。HLD 中に短絡された場合、その ADV 機能は無視します。

①ADV が入力されると即、次のステップが実行されます。

②ADV が一度実行されると、約 2 秒間 ADV 入力は無効となります。

③ステップ切換わり後、約 1 秒間 ADV 入力は無効となります。



8-4. PROG (プログラム)

割付られたDIを短絡することにより、プログラムモードへ移行することができます。開放するとFIXモードへ移行します。

8-5. RUN/RST

割付されたDIにより実行状態とリセット状態を切換えることができます。RUN1とRUN2の2種類から選択できます。

①RUN1 (レベル) の場合

- ・DIが短絡している間、実行状態となります。
- ・プログラムが正常終了した場合、一度DIを開放してから再度短絡しないと実行状態に移行しません。
- ・電源投入時に、DIが短絡している場合は、電源投入直後に実行状態へ移行します。

②RUN2 (エッジ) の場合

- ・DIの短絡毎に、実行状態とリセット状態を切換えます。
- ・プログラムが正常終了した場合、再度DIを短絡させることで実行状態へ移行します。
- ・電源投入時に、DIが短絡している場合は、電源投入直後に実行状態へ移行しません。

9. イベントについて

プログラム関連のイベント機能は以下の通りです。他の警報については、「取扱説明書（詳細版）」を参照してください。

9-1. ステップ信号 (SとPS)

プログラム実行時、ステップが終了する度に1秒間出力します。

9-2. パターン信号 (PとnS)

プログラム実行時、パターンが終了する度に1秒間出力します。

9-3. プログラム終了信号 (EndS)

プログラム実行が終了したときに、1秒間出力します。

9-4. ホールド信号 (Hold)

プログラム実行時に、ホールド機能がONされた場合、ホールドの間出力します。

9-5. プログラム信号 (Prog)

プログラムモードに設定されている間出力します。

9-6. アップスロープ信号 (u-SL)

プログラム実行中、上り傾斜のステップを実行中出力します。

9-7. ダウンスロープ信号 (d-SL)

プログラム実行中、下り傾斜のステップを実行中出力します。

9-8. ギヤランティーソーク信号 (GUR)

プログラム実行中、ギヤランティーソークがかかっている場合に出力します。

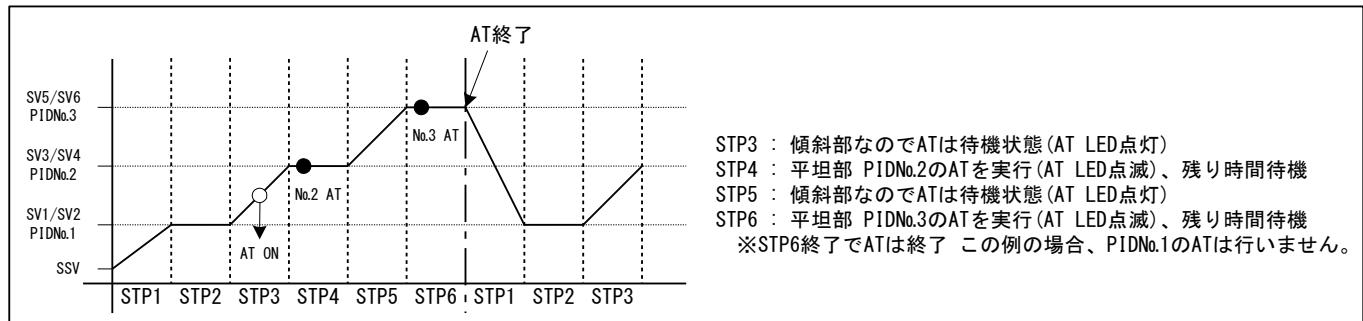
10. オートチューニング(AT)について

オートチューニングとは、PID演算制御を行うための最適なPID値を求めるために行います。詳細については、「取扱説明書（詳細版）」を参照してください。

プログラムモード時、傾斜ステップ実行中はATを行いません。ただし、傾斜ステップ実行中であってもホールド動作中の場合は除きます。プログラム実行回数が2回以上設定されている場合でも、終了ステップにてATは終了されます。

また、終了ステップまでに、すべてのPIDNo.に対してATが完了した場合、その時点でATは終了します。

例) 終了ステップを6、パターン実行回数を2回以上に設定した場合、以下のような動作をします。

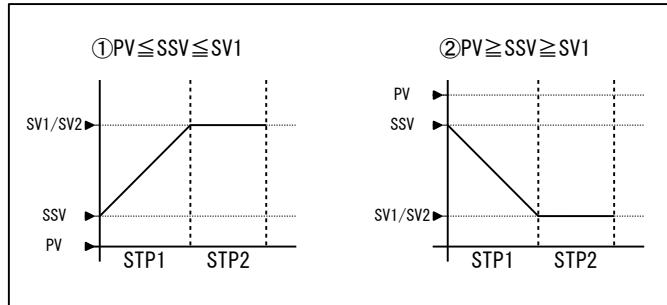


11. PVスタートについて

プログラム運転の開始ステップが傾斜制御で、スタート SV 値と PV 値がかけ離れていた場合、動作時間に無駄が生じる場合があります。この無駄時間を省くために、PV 値をスタート SV 値として開始させることができます。『3-7 スタートモード』を PV に設定することで使用できます。

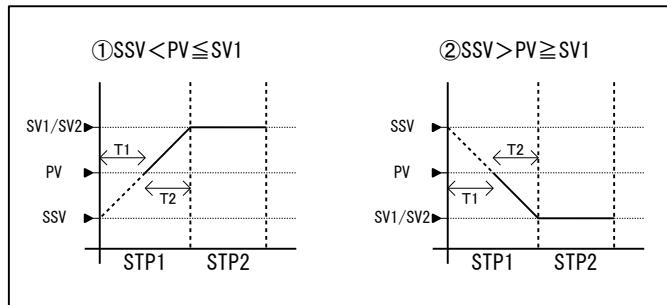
11-1. PVスタートが機能しないケース

スタート SV 値 (SSV) と目標のステップ 1SV 値 (SV1) の間に PV 値が入らない場合、PV スタート機能は動作しません。



11-2. PVスタートが機能し時間が短縮するケース

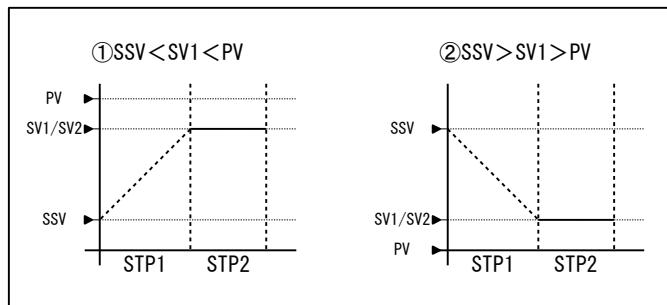
スタート SV 値 (SSV) と目標のステップ 1SV 値 (SV1) の間に PV 値が入る場合、PV スタート機能が動作し、時間の短縮が行われます。



T1: 短縮される時間
T2: 実行する時間

11-3. PVスタートが機能しステップ省略するケース

PV 値が目標のステップ 1SV 値 (SV1) を超えた位置に存在する場合、PV スタート機能が動作し、ステップ 1 が省略されます。



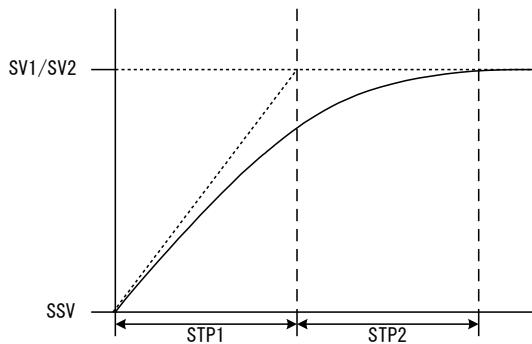
ステップ2へ進みステップ1は省略となります。

12. ギャランティーソーク (GUA)について

傾斜ステップから平坦ステップへ切換わるときに、PVが指定したギャランティーソークゾーン(GUAゾーン)に入っていない場合、次のステップへ移行しません。傾斜ステップから平坦ステップへの移行時以外は無効になります。

12-1. OFFの場合

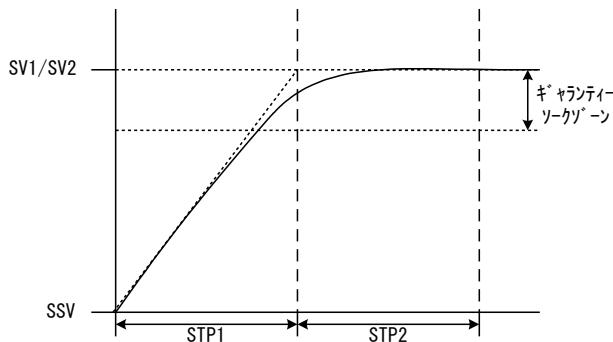
ステップ1の時間経過後、PVがSV1へ未到達の場合でも、ステップ2へ移行します。



12-2. ギャランティーソークゾーンを設定した場合

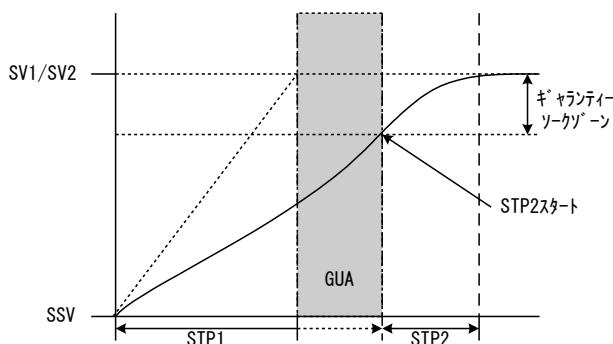
① SV傾斜に対して、PVの遅れが小さい場合

ステップ1の時間が経過後、GUAゾーンに到達している場合、ステップ2へ移行します。



② SV傾斜に対して、PVの遅れが大きい場合

ステップ1の時間が経過しても、GUAゾーンに未到達の場合、GUAゾーンに到達するまでギャランティーソークを行います。



※ ステップ1が平坦 (SSV=SV1) の場合にも、ギャランティーソークを行ないます。

また、ステップ時間に00:00が設定されている場合でも、条件に合えばギャランティーソークを行います。

GUA 中は、基本画面、実行ステップ No. モニタ画面、ステップ残時間モニタ画面、パターン実行回モニタ画面、実行 PID No. モニタ画面の PV 表示部の左 2 桁の少数点が点滅します。

取扱説明書の記載内容は改良のため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

株式会社 **シマデコ**

本社：〒179-0081 東京都練馬区北町2-30-10

東京営業所：	〒179-0081	東京都練馬区北町2-30-10	(03) 3931-3481	代表	FAX (03) 3931-3480
名古屋営業所：	〒465-0024	愛知県名古屋市名東区本郷2-14	(052) 776-8751	代表	FAX (052) 776-8753
大阪営業所：	〒564-0038	大阪府吹田市南清和園町40-14	(06) 6319-1012	代表	FAX (06) 6319-0306
広島営業所：	〒733-0812	広島県広島市西区己斐本町3-17-15	(082) 273-7771	代表	FAX (082) 271-1310
埼玉工場：	〒354-0041	埼玉県入間郡三芳町藤久保573-1	(049) 259-0521	代表	FAX (049) 259-2745

※商品の技術的内容につきましては 営業技術課 (03) 3931-9891にお問い合わせください。

PRINTED IN JAPAN